

# 岐阜県の プラスチック

- ・名古屋市で『中部業界団体懇談会』を開く  
「プラスチック5団体代表の発言要旨」
- ・下請問題で困っていませんか…公正取引委員会から
- ・名古屋市で『次世代ものづくり』と『メッセナゴヤ』開く
- ・射出成形の検定合格者は1級7人、2級17人
- ・新年互礼会は1月23日（金）に岐阜グランドホテルで開催

中部プラスチック5団体の業界団体懇談会



## 名古屋市で中部の業界団体懇談会開催

# テーマは「取引、人材、エネルギー」

## トヨタ産業技術記念館見学後に懇談

中部4県下のプラスチック成形加工団体は9月19日、名古屋市中区錦の名古屋国際ホテルに経済産業省、中部経済産業局の担当者を招き『中部地区業界団体懇談会』を開催した。

参加者は中部日本プラスチック製品工業協会を中心に愛知県プラスチック成形工業組合、石川県プラスチック成形加工工業協同組合、岐阜県プラスチック工業組合、富山県プラスチック工業会の5団体代表23人。当工業組合からは大野實、日比勝次、杉山元彦各副理事長と田中肇理事の4人が出席した。

### 繊維機械と自動車技術の変遷学ぶ

懇談会は平成24年岐阜県、25年富山県に続き、今年度は愛知県が担当、名古屋市西区則武にあるトヨタ産業技術記念館に集合し、施設見学した後、名古屋国際ホテルへ移り開催した。

記念館はトヨタグループの共同事業として発祥の地旧豊田紡織(株)本社工場跡地に設立したミュージアムで“モノづくり”の大切さを、機器の動態展示に実演を加え、繊維機械と自動車技術の変遷を紹介している。

参加者一同はガイドの解説を聞きながら見学、さらに延長開催中の特別展『喜一郎の夢』では、国産自動車づくりの夢に取り組み成功した豊田喜一郎の人生と経営哲学を学んだ。

会場にはトヨタ創業のシンボルカー『AA型乗用車』に貴重な往時の写真や資料が紹介されていた。中でもエピソードの森には「議論を先にすることをやめた」「機械は人間と一体にな

って完全になる」「発明は努力の賜である」「重役室へ来る時は手を洗って来なくてよい」さらに「車のことを一番知っている人は運転する人」など喜一郎氏が実践した言葉の数々が大書されていた。

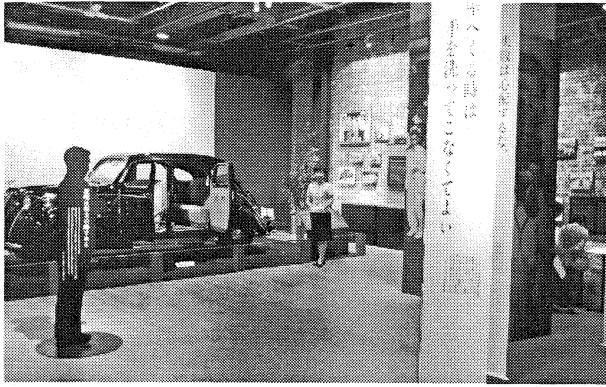
## 新年度の経済産業政策聞く

「経済産業省関係者を招いて開催」

中部業界団体懇談会は、愛知県プラスチック成形工業組合・鈴木啓之理事長が「中部のプラスチック加工団体代表が集まる懇談会は五回を重ねま



経済産業省の関係者から国の新年度経済産業政策を聞く



### 『喜一郎の夢』を見学し経営哲学を学んだ

した。今年は行政担当者を迎え、中部業界の現状を直接聞いてもらうことにした」とあいさつ、議事を進行した。

最初に経済産業省製造産業局化学課・細川尚紀課長補佐から『経済産業省が取り組む平成27年度経済産業政策』の説明を受けた。続いて中部経済産業局産業部製造産業課・今野直明課長補佐と小柳純也総括係長が説明した。

### 消費税転嫁対策を進め好循環図る

細川課長補佐は「消費税アップ後の地方経済の回復力が弱く、とくに中小企業の消費税転嫁や生産性が進んでいないとされます。この機会に地方の生の声を聞かせてもらい、政策に反映していき



中部4県下のプラスチック成形加工団体代表23人が参加

たいと思出席させてもらった」と前置きし、次の経済産業省政策の重点を説明した。

その要旨は「平成27年度政策の重点は、経済の好循環を実現していくために①日本の稼ぐ力の強化②中小・小規模事業者の活性化③環境・エネルギー制約の克服と、クリーンで経済的なエネルギー構造の実現一を目標に取り組んでいく。中小・小規模事業者の活性化では小規模事業者支援策の強化、中小企業・小規模企業のイノベーション推進、起業・創業の推進、事業承継や事業引継ぎの円滑化、さらに消費税転嫁対策の推進を進め、経済の好循環実現を図っていく」。

### 地域産品のブランド向上へ法改正

具体策としては「地域産品のブランド力向上を図るために“地域資源法”の改正、中小企業者等に係る法人税率の引き下げ、地域人材バンク拠点（仮称）の整備などを予定している。消費税転嫁対策では対策窓口を設置して専門家の派遣、講習会の開催、消費税転嫁状況の監視や検査体制の強化、政策金融・信用保証制度による資金繰り支援を実施していく」と説明した。

これを補足し中部経済産業局産業部の今野課長補佐と小柳総括係長は①新年度のサポイン事業プロジェクトは需要側の視点に立ち11分野の特定ものづくり基盤技術にしばらく4～6月に募集する②サポイン事業の成果をシステム化して広く中部ものづくり企業に公開し、ビジネスマッチングに役立てていく（5頁に紹介）③最後に静岡、長野を含む東海5県が東海産業競争力協議会を設けてまとめたビジョンを報告一など中部局関係の政策を説明した。

## 地域中小企業の苦境訴える

### 「各県代表がプラ業界の現状説明」

懇談会は経済産業省・細川課長補佐から提案のあった「取引、人材、エネルギーの3つの課題」をテーマに各県代表が次のように発言した。

＜富山県プラスチック工業会・笠井千秋会長＞富山業界は東海地域のように自動車など工業部品加工に特化しておらず、医薬品や日用品どの零細下請け成形加工ばかりです。したがって製品価格は自社で決められず、細々・ぎりぎりの経営状態にあります。成形加工産業全体が共存共栄できるように政策面で利益の還元方策を考えてほしい。

＜中部日本プラスチック製品工業協会・後藤紘一郎会長＞原材料価格、エネルギー価格の高騰に消費増税が続き、経営面にボディブローのようにのしかかり価格転嫁はできそうにありません。生産量でカバーすれば…といわれますが、実際には増えるどころか減少の一途です。新技術力も成熟した業界の中では簡単に生まれず、生き残る方策は見当たりません。せめて政策によってエネルギー価格の安定化を考えてもらえませんか。

＜石川県プラスチック成形加工工業協同組合・馬場貢理事長＞石川県の業界は零細企業ばかりで価格転嫁はまったく実現不可能です。多くの経営者は辛抱に辛抱を重ねている状況です。業界ではせめて価格転嫁への指針を出すなど、苦境を切り

抜けられる政策を待ち望んでいます。

＜岐阜県プラスチック工業組合・杉山元彦副理事長＞岐阜県のプラスチック加工産業は統計上で第2位の製造品出荷額を誇っています。リーマンショックで大きく後退したが5年後の今日、企業誘致分も加わりやっと取り戻しました。ところが出荷額は回復したものの、生産力を示す付加価値額は下がる一方で第6位、従業員1人当たり付加価値額は全県平均を下回る実状です。

政策はアベノミクス効果を津々浦々に…と言いますが、中小企業は作っても作っても利益が出ない経営事情にあり、限界にきています。

## 今ある問題を打開していく

### 「経済産業省・細川課長補佐の話」

＜経済産業省・細川課長補佐…後日、工業組合へ届いたメールを要約＞今日の業況は地域や企業により様々ですが、共通していたことは現状の円安は良い影響は出ておらず、原料やエネルギー高を価格転嫁出来ていないことです。したがって企業の利益率はどんどん悪くなり、経営に苦勞されていることでした。とくに中小・零細企業は苦境に立たされ、また主力の自動車関連産業との取引環境の厳しさについても伺いました。

こうした業界の皆さんの願いや、今そこにある問題を打開していくために、行政がお手伝いできればと思っております。



中部業界団体の懇談会に出席した工組の役員



平成27年度の懇談会開催地を石川県に決める

「下請問題で困っていませんか」

## 電話相談や移動相談会を実施

公正取引委員会事務総局中部事務所

公正取引委員会事務総局中部事務所は『下請代金支払遅延等防止法』の普及・啓発事業として相談事業を開始している。内容は電話窓口相談、地域・職場での移動相談会や講習会（3社以上）で「秘密は守ります。公正な取引を実現するためにご相談を…」と呼びかけている。（案内は15頁）

下請法では適用対象となる下請取引の範囲を「取引内容は製造委託、修理委託、情報成果物作成委託または役務提供委託」と「取引当事者の資

本金の区分」の2条件を満たすことが求められる。

要点をあげると、下請法では他の事業者規格指定した物品加工委託や、物品製造に用いる金型製造を委託することも製造委託に当たる。また下請法では、下請事業者が発注書面を必要とするかどうかにかかわらず、親事業者は発注に際して必要記載事項を記載した書面を直ちに交付する必要がある、としている。（下請法第3条第1項）

親事業者の行為では、親事業者が下請事業者に責任がないのに発注取消もしくは委託内容の変更、または受領後にやり直しさせて下請事業者の利益を害することは不当な給付変更、やり直しとして問題となる。（下請法第4条第2項第4項）

## ものづくり企業のビジネスマッチングサイトの活用を

中部経済産業局は企業の基礎技術や新技術のデータベースを検索できる「サポインマッチナビ中部」をウェブサイトで公開し、広く川下企業の活用を呼びかけている。

検索と制度の説明は「<http://www.chubu.meti.go.jp/kikai/>」

サポイン事業はサポーティング・インダストリーの略で、製造業を支える中小企業の「ものづくり基盤技術」のこと。経済産業省は8年前に中小ものづくり高度化法を制定、サポインの高度化につながる研究開発を支援してきた。

### 管内140社のプロジェクトを紹介

「サポインマッチナビ中部」は中部経済産業局管内のサポイン事業プロジェクトが開発したデータベースをウェブサイトに公開し、一般中小企業とのビジネスマッチングを図るのがねらい。

今までは「川下の中小企業が求める技術や製品をどんな川上企業が持っているか」を知る機会が少なかった。公開したシステムは、プロジェクトが共同開発した基礎技術や新技術を中小企業が容易に検索・閲覧することができ、ウェブサイトを通じて事業マッチングできるようになった。

公開されたプロジェクトは基本情報と詳細、事業化への取り組み、研究開発体制、企業情報、プロジェクトで開発した製品と技術、従来製品・技術との優位性などが掲載されている。

ウェブサイトに掲載されている研究開発プロジェクト数は研究開発中を含めて140社。工業組合員では▽岐阜プラスチック工業㈱『エンブラを用いた高比剛性部材（熱可塑性ハニカム）製造技術の開発』▽コダマ樹脂工業㈱『多品種、小ロット生産に対応した多層ブロー成形を効率的に行うハイブリット構造のダイヘッド開発』▽天龍工業㈱『中空構造のハイサイクル成形』の3社。

他に岐阜県内ではプラスチック製品、金型、鍛造、電子部品のプロジェクト事業10社を紹介している。サイトは川下企業から見たサポイン事業の検索ツールで、用途ごとに技術体系に検索をかければマッチング企業を探し出すことができる。

## 名古屋市のポートメッセなごやで二大産業展開催

# 『次世代ものづくり』と『メッセナゴヤ交流』

## 岐阜県企業も多数参加し、飛躍に向けて交流

名古屋港の国際展示場で10月に『次世代ものづくり基盤技術産業展』11月には『異業種交流展メッセナゴヤ』が相次いで開かれた。いずれも中部地方のものづくり産業が一堂に会し、一歩先行く先進技術を持ち寄り飛躍に向けて交流、岐阜県内企業も多数出展・参加した。

### ものづくりの基盤技術を発信

#### 「自動車や航空宇宙産業に活かす」

名古屋国際見本市委員会が主催する『次世代ものづくり基盤技術産業展』は4回目、197社・団体が出展した。内容は『次世代自動車、航空宇宙、医療福祉機器など中部地方の戦略産業に活かす先端的な基盤技術』を紹介した。またロボットシンポジウムや技術講演会・セミナーも加わり、ものづくりを考える3日間だった。

会場は先端的な素材、加工技術から生まれた燃料電池車、クリーンディーゼル車、EV・PHV車、航空宇宙機器、さらに高度化支援施策の開発

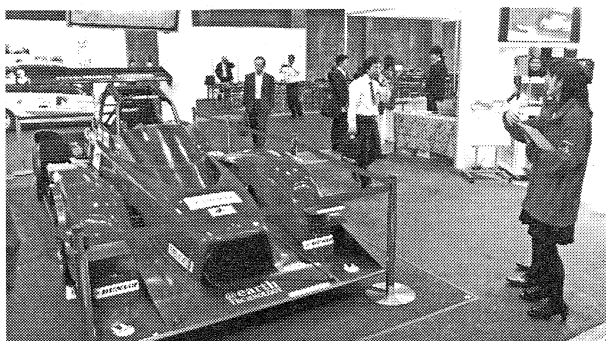
事例を集めたサポインコーナーなどが主役を演じた。スペースを陣取ったのは自動車各社で、競って電動化、軽量化、効率化に取り組み、新車や試作車を展示した。それに電動車技術と四輪制御技術の粋を集めて今年6月、国際レースに優勝した電動レーシングカーが勇姿を見せていた。

航空宇宙産業では商業運航を目前にしたエアバスのエンジン模型、多用途双発ヘリコプター3機の模型、ロケットの開発から打上げのパネル展示も興味を集めていた。今後の市場拡大が見込まれる『レーザー加工技術、3Dプリンタ加工技術、CFRP製造・加工技術』の実演展示もあった。

今回の『次世代ものづくり基盤技術産業展』は



政策支援のサポインコーナーでは30社が新技術開発事例を紹介。航空宇宙産業も重工業各社が新企画を展示



自動車メーカー各社は電動化、軽量化、効率化、さらには燃料電池車を展示し、次世代の車づくりを誇示した

平成27年11月18日（水）から3日間、名古屋市中小企業振興会館吹上ホールで開催される。

## 日本最大級を誇る異業種交流 「企業規模の大小超え飛躍めざす」

メッセナゴヤ実行委員会主催の『異業種交流展メッセナゴヤ』は9回目、今回は『交流が生み出す新たな飛躍～環境・安全・ものづくり』をテーマに4日間開催した。会場は『新たなものづくりへの提案』『安全・安心への提案』『環境・エネルギーへの提案』の3館と屋外展示に、プレゼンテーション会場の交流センターが加わって、多彩な異業種交流を繰り広げた。出展規模は『日本最大級の異業種交流』をうたうだけに過去最多の833

企業・団体（1315企業）となり、岐阜県からは商工会議所、商工会、組合ごとに105企業がグループ出展し『岐阜県の企業』を売り込んだ。

来場者は出展企業の多さに案内板を見たり、会場マップを手に見回った。人気は『新たなものづくりゾーン』で、航空機や次世代自動車などの成長産業に人だかりした。こうした自動車や重工メーカーへ新素材や新技術を提供する高機能樹脂、鋼材、電子機器メーカーに加え、レーザー加工など最新加工技術を提供する各社も盛んにものづくりへの改良・改善を呼びかけていた。

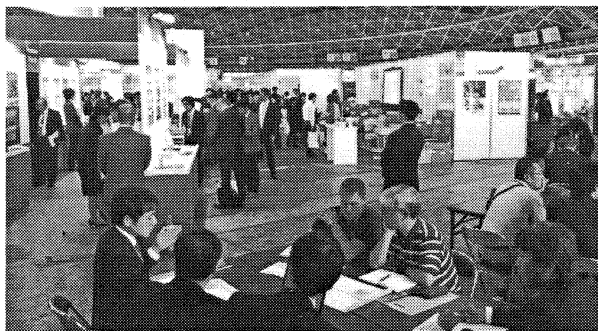
今回の『異業種交流展メッセナゴヤ』は平成27年11月4日（水）から4日間、同会場での開催を決め、出展者募集を開始した。



プラ関係では服部樹脂株が中国製に負けない製品づくりをアピール。コンパクトなりサイクル機も関心集めた



岐阜県の中小企業は会議所、商工会、組合ごとにグループ出展し、全国各地からの来訪者に交流を呼びかけた



展示ブース周囲の商談コーナーでは、交流や商談が弾んだ。産業・産物紹介で賑わう東日本復興支援コーナー



# 射出成形の検定合格者は1級7人、2級17人

26年度前期技能検定・受検者数も合格者数も前年比半減

平成26年度前期技能検定『プラスチック射出成形作業』の合格者発表があり1級7人、2級17人が合格した。合格率は1級17.5%、2級23.9%と厳しかった。このうち組合員企業からは1級6人、2級13人が技能士の資格を得た。

今年度の技能検定は組合員企業・員外企業から1級が学科、実技合わせて40人、また2級は学科、実技を合わせて71人が申請、資格をめざして挑戦した。受検者数は前年に比べて少なく、合格者数もダウンした。

次は組合員企業の技能士になったみなさん。

## 《1級技能士合格者》

山田 豊 (岐阜プラスチック工業㈱)

小枝 貴弘 (ムトー精工㈱)

西尾 学治 (明光化成工業㈱)

依田 行弘 (岐阜プラスチック工業㈱)

矢野 晃央 (岐阜プラスチック工業㈱)

今井 悠平 (岐阜プラスチック工業㈱)

高橋 英二 (岐阜プラスチック工業㈱)

## 《2級技能士合格者》

遠藤 寛治 (岐阜プラスチック工業㈱)

山岡 隼也 (岐阜プラスチック工業㈱)

安部 哲也 (岐阜プラスチック工業㈱)

高橋 和成 (岐阜プラスチック工業㈱)

川畑 一刀 (岐阜プラスチック工業㈱)

井村 元 (㈱オンダ製作所)

森 勇樹 (岐阜プラスチック工業㈱)

吉田 聖 (岐阜プラスチック工業㈱)

高石 裕司 (岐阜プラスチック工業㈱)

深尾 真大 (岐阜プラスチック工業㈱)

竹林 伸哉 (アバンステクノ㈱)

奥田 佳祐 (コダマ樹脂工業㈱)

西尾 健志 (明光化成工業㈱)

## 新春にブロー成形の検定

後期技能検定・1級2人、2級6人

後期技能検定『プラスチック成形ブロー成形』の実技検定は新年1月末から2月にかけて実施予定している。

スケジュールは調整中で、会場は例年と同じ神戸町にあるコダマ樹脂工業㈱本社工場のブロー成形機を借り受けて実施する。

受検者は前年度(1級3人、2級3人)より2人増え1級2人、2級6人が技能士をめざす。

## 県の最低賃金は738円

14円引き上げ10月から適用開始

岐阜県の地域別最低賃金は10月1日から時間給738円が適用された。前年度実施の724円より14円引き上げ、県内すべての労働者に適用された。最低賃金の対象になるのは、通常の所定内賃金に限られ、ボーナス等臨時の賃金、休日・時間外などの割増賃金及び通勤手当(交通費)家族手当、精勤・皆勤手当は対象にならない。

産業別の最低賃金は電子部品・電子回路・デバイス・電気機械器具・情報通信機械器具製造業792円、自動車・同付属品製造業830円、航空機・同付属品製造業879円が適用された。

中部地方の新しい地域別最低賃金は、自動車産業の多い愛知県がトップで800円、次いで高い順に静岡県765円、三重県753円、滋賀県746円、岐阜県738円、長野県728円、富山県728円、石川県718円、福井県716円となった。地域別全国平均は780円で、16円上昇した。



## 前期技能検定実技試験を終えて

—— 主席検定委員 長屋喜八

本年度の射出成形技能検定の傾向は作業動作、作業態度の減点が多かったと思われます。これは基本的資質の低下と考えられます。対応するにはまず、成形の基礎を身に付ける教育・訓練が必要です。

例えば金型を安全に取り付けるにはどんな手順で行うか、材料替えはどう進めるか成形条件の選定はどうするのか、という射出成形を行うための基本操作など基礎の習得が必要と考えられます。これが実行されれば県の技能検定実技合格率は上昇、さらには企業の技術レベルは上がり、ひいては岐阜県プラスチック成形加工業界の技術レベル向上につながるでしょう。

## 初任者研修後に検定受けて合格

—— (株)オンダ製作所 井村 元

会社で配管部品の開発設計を担当していますが、部品の樹脂化が進み、より良い製品開発のために製造プロセスを学ぶ必要に迫られ、初任者研修を受講しました。

研修では基礎知識から成形不良、さらにはメカニズムまで幅広く学ぶことができ、とくに実機による製品づくりを行う貴重な体験をしました。この自信からスキルアップ、射出成形技能検定を受けたのです。

結果は実技検定も学科試験も見事に合格技能士の資格を得ることができました。聞けば初任者研修を受けた研修生の中で“検定合格第一号”だそうです。今後、成形加工のできる設計者として活躍していきたい。

## 職業能力開発促進大会開く

—— 卓越技能 1 人、技能検定 5 人が受彰 ——

岐阜県と県職業能力開発促進協会は 11 月 27 日大垣市情報工房で『岐阜県職業能力開発促進大会』を開いた。職業訓練や技能検定関係者が一堂に集まり多数の人々が受彰した。組合関係では明光化成工業(株)理事の安藤勝基さんが「プラスチック成



促進大会で知事表彰を受けた卓越技能者

形の不良率軽減技能を手順化した卓越技能者」として知事表彰を受けた。次は組合関係で受彰したみなさん。



写真は安藤さん

《知事表彰・卓越技能者》

写真

◇安藤 勝基 (明光化成工業(株))

《協会長表彰・技能検定成績優秀者》

◇特級プラスチック成形

細川 淳多 (岐阜プラスチック工業(株))

◇1 級機械系保全作業

三島 正行 (岐阜プラスチック工業(株))

◇1 級ブロー成形作業

高橋 浩之 (コダマ樹脂工業(株))

◇2 級ブロー成形作業

川瀬 卓也 (コダマ樹脂工業(株))

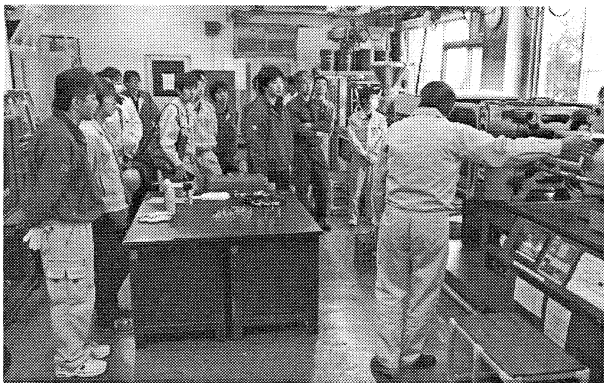
◇1 級射出成形作業

依田 行弘 (岐阜プラスチック工業(株))

## 新入社員を対象にした初任者研修会を開く

### 射出成形の基礎知識から成形不良対策まで

工業組合は岐阜県産業技術センターで、11月7日と10日から4日間『プラスチック射出成形初任者研修会』を開催した。組合員企業に就職した技能者育成と定着が目的で、プラスチック成形に関する基礎知識から成形機の操作、成形、さらには成形不良対策まで幅広く研修してもらった。



成形機の操作に当たって説明を聞く研修生

研修会は4年目の開催、初日の研修内容は知識講習と実技の全体講習で、成形加工に必要な①プラスチックの概要と高分子の基礎知識②機械的・熱的性質などプラスチックの特性③成形機操作の全体講習一を学んだ。

10日から始まった成形実習は日精、住友の2機を使用し、2人ずつ終日、産業技術センター職員から操作指導を受けた。内容は金型の取付け取外しから成形条件の設定、さらには材料替えや不良成形対策までみっちり体験してもらった。

実習を終わった参加者は「予備知識の無い状態で参加したが、これで基礎知識が得られた」「疑問に感じていた成形条件の設定方法が理解できた」また「成形作業のポイントが判った。会社の作業で役立てたい」と話していた。

## JR岐阜アクティブGに新ショップ メイドイン岐阜1500点

八幡化成㈱はマルチバスケットを出展

岐阜県はJR岐阜のアクティブG 2階の商業施設に、清流の国「THE GIFTS SHOP」をオープンした。運営するのは名古屋市のリアル・スタイル㈱で、県民には「ぎふ再発見の拠点に」観光客には「交流の拠点に」ものづくり事業者には「マーケティングの拠点」として「岐阜のすべてを展示し、広く発信していく」と話している。

店舗の広さは330平方メートル、食品、陶磁器、木工、プラスチック製品はじめ、メイドイン岐阜ばかり約1500点が並ぶ。組合員企業では八幡化成㈱がマルチバスケット『バルコロール』を出展している。ポリエチレン製で、色調と柔軟な形とシンプルなデザインは、リビングに溶け込みそうだ。



オープンした岐阜産品のすべてが並ぶ新店舗。下はマルチバスケット

## 新年互礼会は1月23日（金）岐阜グランドホテルで 今年も金型工業組合と共催し交流

### 講演会は上方講談界の旭堂南青師匠を招く

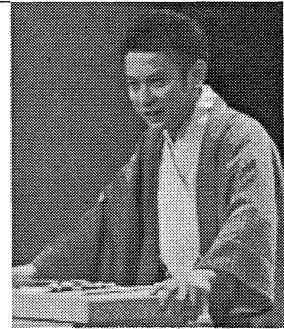
工業組合は新年1月23日（金）に岐阜市長良にある岐阜グランドホテルで、平成27年初行事『新春講演会』と『新年互礼会』を開催する。新年も岐阜県金型工業組合と共催し、成形加工業界と金型業界の交流を図り、相互の発展をめざす。

互礼会は午後4時30分から新春講演会を開催、午後6時から参加者は一堂に集まり交流パーティーを開く。当工業組合からは児玉栄一理事長はじめ組合員、また金型工業組合からは黒田隆理事長らが出席する。来賓として岐阜県商工労働部はじめ関係官公庁・団体の代表者、さらに両工業組合の賛助会員らを多

数招く予定でいる。

新春講演会の講師に旭堂南青師匠は上方講談界の旭堂南青師匠を招く。演目は社会科で教えない歴史講談『若き秀吉に学ぶ知恵』で、藤吉郎時代に誰もが成し得なかった城普請を三日で完成させた師匠十八番のテーマ。来岐に当たり「秀吉は下積み時代の経験を生かし、人々に動機を与え、集団の力を効果的に発揮し、信長を感心させたエピソードを聞いてもらおう」と話している。

南青師匠は平成16年、近畿大学卒業と同時に旭堂南左衛門に入門し、主として関西で活躍している。



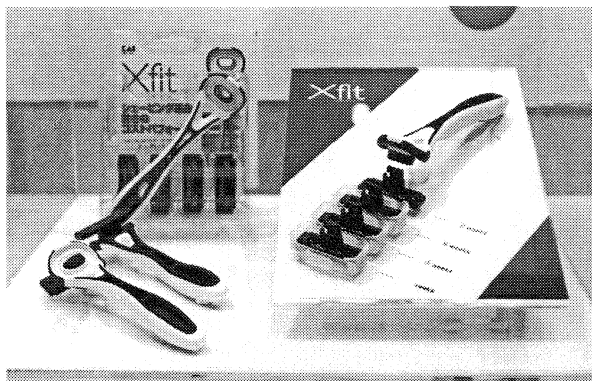
## カイ(株)の簡単替刃式カミソリ

### 「岐阜県発明くふう展で理事長賞贈る」

『岐阜県発明くふう展』が10月24日から4日間、岐阜市正木のマーサ21で開かれた。県発明協会などが主催、工業組合も協賛して開かれ、会社の部14点、一般の部20点、児童・生徒の作品

201点や商標・社標などの出品があった。

審査の結果、県プラスチック理事長賞は『使いきりカミソリの手軽さと替刃式カミソリの機能を合わせ持った5枚刃カミソリ』を出品したカイインダストリーズ(株)に贈った。また、文科大臣奨励賞は『世界最軽量の発泡成形エンジンカバー』を出品した太平洋工業(株)が受賞した。



替刃を簡単に交換できるシェービングスタイル



発泡成形技術で実現した超軽量エンジンカバー

組合は創立50周年に向い進みます



平成29年度の開通をめざす養老JCT～養老IC間3.3km

岐阜県プラスチック工業組合  
役員一同



## コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守 377の1

電話 <0584> 27-4141

支店 東京、大阪

営業所 本社

工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ  
農業用ポリエチレンフィルム



## 株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 寛

本社 工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004

TEL (058) 246-1313 番(代)

FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西區城西5丁目15番4号 〒451-0031

TEL (052) 521-9296 番(代)

FAX (052) 532-1664 番

浜松事業所 浜松市西區入野町6056 〒432-8061

TEL (053) 447-2511 番(代)

FAX (053) 447-4248 番

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作



## 大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社 工場 大垣市大島町2丁目394番地

〒503-0001 ☎(0584)81-1347代

精工部 ☎(0584)75-0333代

FAX (0584)81-1350

E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp



代表取締役  
杉山 元彦

各種プラスチック真空成型加工

## パール化成株式会社

本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井243-3

TEL (058) 324-9155(代) FAX (058) 324-6221

岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1

TEL (058) 271-0861(代) FAX (058) 275-0970

E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp

URL http://www.pearl-kaseihin.co.jp/



## アテナ工業株式会社

代表取締役社長 下野 泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1

TEL (0575) 24-2424 (代表)

〒501-3217 FAX (0575) 24-0567

URL http://www.athena-kogyo.co.jp



② 牧田川を横断する橋脚は完成。遠望は養老JCT




③ 建物はスポーツプラザ養老  
工事進む養老JCT～養老IC間の下部工。大垣西ICに続いて養老ICが開通すれば、名神への直結部分は完成。



- 成形事業部
- ギフト事業部
- キャスター事業部

代表取締役社長  
**林 敬一郎**


**Sanken**  
**岐阜産研工業株式会社**  
岐阜県揖斐郡大野町公郷 1403 番地



持続可能な社会の実現に向けて

**岐阜プラスチック工業株式会社**

取締役社長 **大松 利幸**  
本社 / 岐阜市神田町9-27 大岐阜ビル12F  
☎ (058) 265-2232(代)



**関プラスチック工業株式会社**  
プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役  
**洞 田 禮 彰**

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10  
TEL (0575) 22-4352(代)  
FAX (0575) 24-5131  
E-mail : office@sekipla.co.jp




**高安株式会社**  
ECOナイロン樹脂「タナジシ」の製造・販売  
再生原着ポリエステル短繊維の製造・販売

代表取締役社長  
**高 安 義 英**

岐阜県各務原市蘇原村雨町3-47  
〒504-0828 TEL (058) 382-2231(代表)  
FAX (058) 389-4563  
URL <http://www.takayasu-rf.co.jp/>  
E-mail : sourmubu@takayasu-rf.co.jp

独創技術で複合材の明日を拓きます



**天龍コンポジット株式会社**

代表取締役社長 **大竹 正泰**

〒509-0304  
岐阜県加茂郡川辺町中川辺1430番地1  
TEL 0574-53-2351  
FAX 0574-53-2354



**NISSEKI CO.,LTD**

プラスチック原料の着色加工

株式会社 **ニッセキ**

代表取締役会長  
**石原 良美**

代表取締役社長  
**水谷 仁式**

■本社工場 〒503-0653  
海津市海津町内記 194  
TEL (0584) 53-0238 FAX (0584) 53-0359  
nskkaizu@octn.jp



**Hachiman-kasei co.ltd.** plastic products

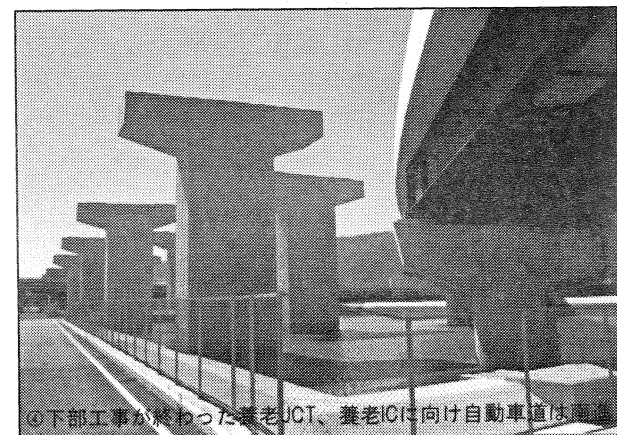
代表取締役社長  
**高 垣 美代子**

**way-be®**  
**sceltevie®**

**入幡化成株式会社**

本社・工場：〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地  
TEL・0575-67-1175(代) TEL・0575-67-1190  
FAX・0575-65-5150

takagaki-m@hachimankasei.co.jp  
<http://www.hachimankasei.co.jp>





## ムトー精工株式会社

代表取締役 田中 肇

本社 〒509-0147 岐阜県各務原市鶯沼川崎町1-60-1  
TEL(058)371-1100(代) FAX(058)371-2593  
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鶯沼川崎町1-93  
TEL(058)383-8311(代) FAX(058)383-1516



## 株式会社川瀬樹脂工業

エンジニアリング  
プラスチック成形加工

代表取締役 社長 川瀬 忠雄

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地  
TEL (0584) 27-2566 FAX (0584) 27-5956  
E-mail: t-kawase@sunthree.co.jp URL: http://www.sunthree.co.jp



プラスチック原料製造販売  
委託加工及びカラーリング

## 美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田 健司

〒501-3763  
岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1  
TEL(0575)33-1888 FAX(0575)33-1618  
E-mail: mk1451@ceres.ocn.ne.jp

## 岐阜県のプラスチック 2014年 第218号

平成26年12月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173  
FAX (058) 276-1525

## 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

全てのニーズにお応えするJPP  
技術力で信頼にお応えするJPP

# Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

### バテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

### ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

### ニューゴン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクター-TPO

### ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高性能ポリプロピレン

### ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

### ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

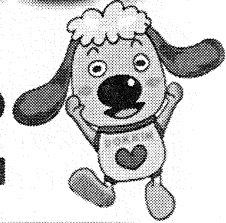
## 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

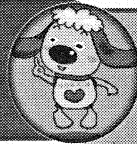
中小事業者の皆さまへ

# 公正な取引を実現するため 私どもに御相談ください

下請法や優越的地位の濫用等についての  
疑問や質問にお答えします！



## 移動相談会



### あなたの地域・職場に伺います！

公正取引委員会は移動相談会を実施しています。取引先による支払遅延や返品などでお困りでしたら、公正取引委員会に御相談ください。

※同じお悩みを持つ方々と3社以上  
でお申込みください（無料です）。

詳しくは裏面を御参照ください。



## 相談窓口



### 電話での相談にも対応いたします。

詳しくは裏面を御参照ください。



秘密は守らせていただきますので、安心して御相談ください。



**公正取引委員会**  
Japan Fair Trade Commission

中部事務所下請課  
TEL 052-961-9424  
FAX 052-971-5003

## 雨水利用タンク

# ホームダム

RWT-250

### ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



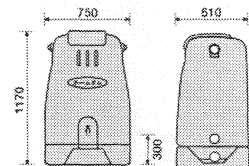
1 専用付属部品で簡単施工  
(決型トイレ 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです  
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約  
(例) 某市で料金200円/m<sup>3</sup>を納めている  
ご家庭では、  
・ホームダム1体(250ℓ)約50円  
・週に2杯溜めると約400円/月  
・年間では約4,800円  
が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用  
Uポート金具付です



#### ■製品仕様

価 値	250ℓ
重 量	約22kg
材 質	超高分子量ポリエチレン



## コダマ樹脂工業株式会社

本 社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141  
 本社営業部  
 容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992  
 産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オーケビル京橋) TEL(03)3564-5266  
 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル7階) TEL(06)6341-0015